

役員会 議事概要

日 時：令和6年1月12日(金) 13:30～14:40

場 所：本部 研修棟 3階会議室

出席者：山本理事長、屋敷理事、田中理事、楠理事、佐藤理事、徳岡特任補佐、村上理事（北海道東北地区）、吉田理事（関東地区）、住田理事（東海北陸地区）、西田理事（近畿四国地区）、島田理事（九州地区）、石尾監事、牧監事、木村総務部長、中村企画経営部長、道上運営支援部長、田中情報システム統括部長、菅井看護担当部長

※関根特任補佐、井原医療部長、川寄職員厚生担当部長 欠席

※細井統括部長（東海北陸地区）オンライン

1. 能登半島地震についての報告

(1) 災害対策本部より報告

(説明概要)

菅井看護担当部長から現状を報告。

(主な意見、質疑)

・国からの看護師派遣要請について、法人全体で看護師派遣への手上げが130名以上あったところ。法人として積極的に協力していく。

(2) 現地災害対策本部より報告

(説明概要)

細井統括部長から現状を報告。

(主な意見、質疑)

・被災地支援の長期化が予想されるが、派遣者の健康面・勤務環境に配慮し、現地対策本部と入念に連携をとりつつ、現地での支援を進めること。

2. 審議事項

(1) 能登半島地震における看護師派遣にかかる医師等派遣手当の特例等について(案)

(説明概要)

木村総務部長から能登半島地震における看護師派遣にかかる医師等派遣手当の特例等について(案)を説明。

(主な意見、質疑)

・議題(案)について了承
・介護福祉士についても、本特例を用いて支給することとする。
・他法人からの情報では、断水のため住環境が著しく悪く、派遣者の宿泊施設の借り上げをしているケースもある。また、現地では材料・医薬品の短期間で不足してしまう事態も露呈していることから、基本的に短期間の勤務にすべき。以上を十分

に考慮した上で医師等派遣手当の支給をすること。

→当初、国からの要請は9日間の勤務ターンであったが、調整し6日間へと短縮した。

3. 本部からの報告

(1) 有識者会議について

(説明概要)

中村企画経営部長から有識者会議について説明。

(主な意見、質疑)

- ・特段の意見なし

(2) 令和5年11月月次決算報告について

(説明概要)

中村企画経営部長から令和5年11月月次決算報告について説明。

(主な意見、質疑)

- ・特段の意見なし

(3) 第14回 経営強化本部議事要旨及び資料

(説明概要)

資料配布のみ

(4) 医療安全にかかる重大なアクシデント報告（令和5年11月分）

(説明概要)

菅井看護担当部長から医療安全にかかる重大なアクシデント報告（令和5年11月分）について説明。

(主な意見、質疑)

- ・現在、各事務所から老健の窒息時の対応について確認をしている状況。
- ・第一の事例について、事案の状況・対応策が分かるように情報共有をすること【**宿題事項**】。

(5) JCHOにおける新型コロナウイルス感染症対応（令和2年2月～令和5年12月15日）

(説明概要)

資料配布のみ

(6) 指定介護保険事業所等の廃止について

(説明概要)

資料配布のみ

(7) 第 05-08 回 施設等投資検討会議資料及び議事要旨

(説明概要)

資料配布のみ

(8) 令和 6 年度 役員会等の開催日程

(説明概要)

資料配布のみ

4. その他

(1) 本部の主な動き (1、2月)

(説明概要)

資料配布のみ

5. 各地区からの報告及び意見交換

(主な意見、質疑)

- ・能登半島地震による被災地外の病院において、患者の受入を積極的に対応したい。
- ・建物の解体額につき、積算根拠の共有をすること【宿題事項】。
- ・規模の大きい経営良好とされてきた病院でも、減価償却費が少なかった影響等を除けば足元の状況が悪いところがある。大病院の経営改善をしないと、法人全体で安定しないので、まず問題点を洗い出すべき。
- ・地域によっては、人口減少が急激すぎて、病棟集約で経営改善ができない病院もあることから、地域医療構想調整会議にて議論し、地域での連携も将来構想として見据えて対応すべき。
- ・経営状況が好調な病院が突如破たんする可能性もあることから、規模の大きい急性期病院は、5年、10年という期間での投資計画を立てたほうがベター。